⊕たかはるちょう

第37号

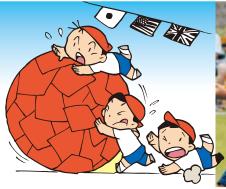
平成23年9月定例会(第6回)

- 7: - 1















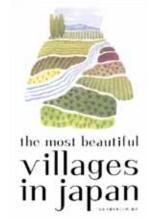






- ●平成23年度第6回定例会・・・
- ●平成22年度一般会計決算審査、特別委員会報告・
- ●平成22年度特別会計、企業会計決算審査報告
- ●総括質疑、一般質問・・・
- ●第6回定例会議議決内容・・
- - ■発 行/高原町議会

- ■編集/議会だより編集委員会
- ●889-4492 宮崎県西諸県郡高原町大字西麓899番地 ☎(0984)42-2111
- ■発行日 平成23年11月15日



後川内保育所

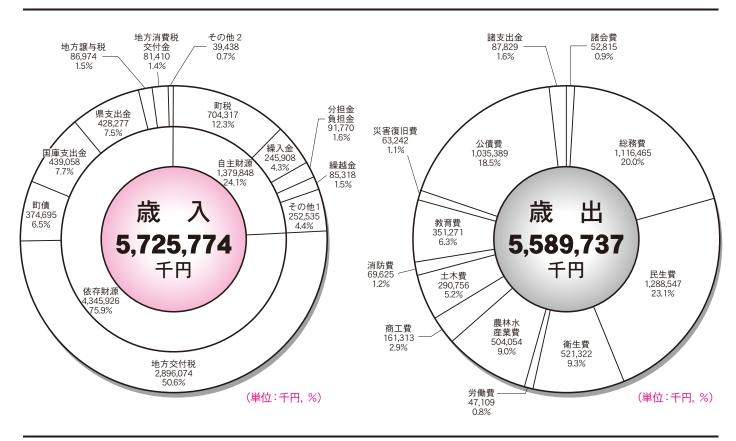
9月定例会

平成23年9月7日から26日までの20日間の会期で開かれました。 平成22年度一般会計・特別会計・企業会計の決算12件、平成23年 度補正予算4件、人事2件、発議3件、条例2件、報告1件、その他3件 を承認、可決、同意しました。

なお、請願1件も可決しました。

平成22年度一般会計決算歲出額

55#89,737#H





平成22年度

一般会計決算審查 特別委員会報告

歳入総額は、前年度比4%減の57億2,577万4,094円。歳出総額は前年度比4.1%減の55億8,973万6,521円。差し引き1億3,603万7,573円である。翌年度へ繰り越す額を除いた実質収支額は、9,803万8千円でこのうち、5,000万円を基金に積み立てた。

歳入については、依存財源 7 5.9 %、自主財源 2 4.1 %で町税は 7 億 4 3 1 万 7,6 0 7 円、前年度比 1,4 3 3 万 2,0 5 0 円、 2.0 %の減である。依存財源では、地方交付税が前年度比 1 1.6 % 増の 2 8 億 9,6 0 7 万 4 千円。これは口蹄疫、新燃岳噴火対策という特別交付税大きく伸びたことが大幅増の要因である。

国庫支出金が前年度比56.9%減の4億3,905万7,478円。県支出金は、前年度比24.6%増の4億2,827万7,125円などが主なものである。今後、町税・保育料・住宅使用料等の収納率向上に特段の努力を望むものです。

歳出は、予算現額64億5,343万1,433円に対し、支出済額55億8,973万6,521円、執行率86.6%となっている。義務的経費26億7,694万1千円の47.8%、このうち10億3,538万8,581円が公債費18.5%である。投資的経費は普通建設事業の4億5,392万6千円、54.3%減となっている。

決算は、住民福祉の増進、産業の振興、生活の整備等に努力されたものとなっている。

また、口蹄疫対策では、昼夜懸命な防疫活動により、本町では発生を阻止された事、新燃岳噴火については迅速な町民の避難誘導や火山灰の除去等、職員の積極的な災害対策なとが講じられた。



北狭野神武ふるさと館



消防団第六部詰所

特別会計・企業会計決算審查報告

◆総務経済常任委員会

*住宅新築資金等貸付事業特別会計

歳入268万9千253円、歳出258万2,168円、差し引き10万7,085円の黒字決算である。歳出は公債費償還金228万4,359円と公債費償還金利子18万9,079円などである。 債権の年度末残高は3千910万6,860円となっている。

○委員会の意見

制度の長期化に伴い、償還対象者も高齢化し、徴収環境は年々厳しくなってくることから法的な措置を含めた徴収事務に努力されたい。

*農業集落排水事業特別会計

歳入2,095万8,628円、歳出2,063万4,131円、差し引き32万4,497円の黒字決算である。

歳入は一般会計からの繰入金1,566万5,000 円、使用料 480万9,480 円、繰越金 46万4,148 円である。

歳出は農林水産業費が515万1,411円、公 債費1,548万2,720円となっている。

今後とも加入促進に向け努力を要望する。



広原の農業集落排水処理場

*簡易水道特別会計

この会計は旭台地区の簡易水道会計で給水件数139件。

歳入4,629万1,809円、歳出2,981万7,997円、差し引き1,647万3,812円の黒字決算である。

歳入の主なものは、使用料・手数料 1,3 6 1 万 3,1 7 6 円、繰入金 2,7 0 0 万円、繰越金 5 6 7 万 8,6 3 3 円である。

歳出は、衛生費2,727万396円、公債費254万7,601円である。

*公共用地取得事業特別会計

歳入1,282万8,281円、歳出1,282万7,332円、差し引き949円黒字決算である。 歳入は一般会計からの繰入金1,282万7,332円と繰越金949円である。歳出は公債費1,282 万7,332円となっている。

*水道事業

本事業は給水人口1万48人、給水件数4,377件、年間有収水量は120万4,953㎡で有収水量率76.3%となっている。

営業収益は、1億6,826万8,539円、営業費用は1億2,906万2,295で、当年度純利益は1,474万752円の黒字決算となっている。

*工業用水道事業

当年度1社の企業立地があったが、工業用水を使用する企業でなく、収益的支出はない。

資本的収入は228万6,388円、資本的支出は 建設改良費94万7,617円と企業債償還金133 万8,711円で全額他会計からの補助金である。



旭台浄水場

◆文教厚生常任委員会

*老人保健特別会計

歳入165万7,208円、歳出163万9,298円、差し引き1万7,910円の黒字決算である。老人保健医療制度が平成20年4月1日から後期高齢者医療制度に移行された為、当会計は平成20年3月以前の医療給付に係るものが主な決算額となっている。

*国民健康保険特別会計

歳入16億9,239万9,302円、歳出 16億2,666万6,302円、差し引き 6,573万3,000円の黒字決算である。

平成23年3月31日現在、被保険者数3,629人、世帯数2,080世帯である。

保険税滞納額は、8,875万8,496円、 前年度比512万2,676円(5,5%)の 減となっている。



グランドゴルフを楽しむ高齢者の皆さん

○委員会の意見

年々徴収率は低下してきています。公平なサービスと負担は基本的なものであり、徴収については 法的な措置も含め、より一層の努力を望むものであります。

*介護保険事業特別会計

[保険事業勘定]

歳入9億9,997万9,137円、歳出9億5,879万9,718円、差し引き4,117万9,419円の黒字決算である。平成23年3月31日現在の被保険者数は3,435人、介護認定者数は527人となっている。今後も保険給付費の増加が見込まれるため、介護予防の推進や自立支援等にも、なお一層の努力をされるよう要望する。

[介護サービス事業勘定]

歳入368万2,493円、歳出368万1,206円、差し引き1,287円の黒字決算である。

*後期高齢者医療特別会計

歳入2億7,280万5,422円、歳出2億6,858万2,286円、差し引き422万3,136円の黒字決算である。

平成23年3月31日現在の被保険者数は2,135人である。

*病院事業

本年度の医療体制は常勤医師 4 人、他職員 4 9 人の計 5 3 人である。入院患者数は年延べ数 1 万 7 , 2 9 0 人、外来患者年延べ数 5 万 5 , 1 8 0 人、1 日平均 1 8 7 . 1 人となっている。

入院収益は、4億4,499万971円、外 来収益は3億4,746万8,471円となって いる。

厳しい経営状況の中、「高原町立病院改革 プラン」に基づき、町立病院の役割を果たし、 医療の質の確保と町民ニーズに対応した医療 サービスを提供されることを期待する。



町立高原病院













◎前原 淳一 議員

問 税の違いは。 軽自動車税の非課税、 免

署であり、 害者が八十一名、 非課税の七十八台は官公 免税九十二台は障 生保が五名、

(問) 現住人口統計調査で、町 と宮日新聞との公表に違いが 公共用が六台となっている。 理由は

いと理解している。 方を含めた人口、この点の違 町に住所をおいているだけの 実際住んでいるか、高原

業について検証はされたのか。 万円となる。 経済波及効果は二億五千六百 幅広い業種で利用され、 プレミアム商品券発行事

(答) なごみ会児童クラブ (光 (問) 放課後児童健全育成事業 できている。 ており、目的はおおむね達成 遍照児童クラブが十名となっ 明保育園)が月平均十八名、 的は達成されているか。 の参加児童数は、又事業の目

> 所の移転の考えは。 となっている。対策は、 営業務で、来館者、貸し出し (問)公民館費の図書室管理運 貸し出し図書の全てが減 又場

(答) 毎年二百冊前後の新刊図 転の考えはない。 を加えていくことになる。 と利用しやすい図書室に改良 書を購入している。そのPR 移

と聞くが。 百万円以上の謝礼が送られた 田画伯より絵画を寄贈され、 昨年の口蹄疫発生時、 野

(答) 三月議会で二百万円の報 支払った。 税を差し引いた百七十万円を 頂いている。 償費の補正を上程し、 絵は四点で所得 可決を

〇中村

(問)合併処理浄化槽の普及に (答) 合併浄化槽の普及は全世 帯の五○%未満である。 ついての考え方は。 引き

続き普及に努める。

(問) 日本ジオパーク大会の中 今後の構想は。 教育と言うことで取り組みが ではジオパークと防災、観光、 なされている。本町のジオパ ク観光に活かせないか。

(答)子供達に高原のすばらし さを学んでもらおうと教育の

ばならないと考える。 活動に取り組んで行かなけれ ばならないし、行政、観光協 受け入れ態勢も整備しなけれ りながら今後のジオパークの 会、温泉協組合等と連携を図 面からも取り組んでいる。又

問 出来ないか。 て見学が出来るビジターセン 観光客がジオパークとし あるいは火山科学館は

(答) 本町にはエコミュージア あるべきかを考えていく必要 ム的なものがない。今後どう

(問) 肥育素牛購入資金貸付に

ついて、未償還者に対して法

政がと、なった場合、町が一 があるのでは。 定の方向なり方針を出す必要 ついてはどう考えるか。又財 育園は存続された、

(答) 平成二十六年度に統合が 源について検討の指示をして の事業との関係もあり、 している。財源については他 可能か教育委員会に指示を出 は真摯に受け止め、 新たな財



(問)定住促進の考え方から保 小学校に

(問) 監査意見では、 答)滞納については、その都 めている。 度呼び出しをして指導をして ある。現時点での方向性は。 等制度改正をとの監査指摘も 約の中で対策を講じるよう努 的な措置を含め、 いる。現在は牛を担保して契 保証人関係

責任者の考えは。 が必要との指摘である。会計 制度改正

(問) 滞納者は何名か。又徴収 (答) 償還を促していくことで 担当課と調整をしている。

猶予者は。

(答) 肉用牛振興基金について はいない。 肥育素牛については、 は十一名、 含め三名である。償還猶予者 雌牛貸付基金については四名、 高齢者等肉用繁殖 大口を



セリ市の様子

◎温谷 文雄議員

(答) 第三者納付金は、平成二 とも成功報酬で支払うのか。 もなくても支払うのか。それ る国保連合への委託料は、何 第三者行為請求を委託してい 三者納付金の昨年度の件数と 国民健康保険の収入の第

十五名である。

〇中村 昇議員

(問) 特別養護老人ホームの入 における特別養護老人ホーム 所待機者は何名いるのか。 入所待機者は、 平成二十二年度の高原町 県の調査で四

はないのか。 老人ホームの施設設置の申請 医療法人からの特別養護

(答)現在、設置申請の話は聞 いていない。

委託料

は成功報酬で支払う。 十二年度三件。また、

業特別会計

〇中村

問 診の受診率向上の対策はどの ように考えているのか。 後期高齢者の方の特定健

今後、

黒字経営が見込めるの

か。

(答)制度自体の啓発と健康審 査を掲載したポスター等を各 をお願いする。 協同組合や商工会等への協力 医療機関へ配布。また、農業

みやま園

◎清水 公雄議員

どのような対処をしているの 方の保険証の交付については、 保険料未納付の高齢者の

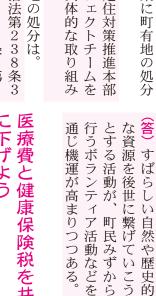
(答)被保険者証を一律交付し ている。

预院事業について

.問)外来患者の減少の要因は 償還が来年度から始まるが、 どこにあるのか。また、起債 しがあるのか。 病院の収支はどのような見通

(問)外来患者が減少しても、 (答) 減少の要因として医師 平成二十一年度より増加傾向 現在の決算上の補てん財源は、 平成二十三年三月三十一日 収支決算を行ってきた結果、 が保てていければ賄える。 にある。よって単年度の収支 減少である。起債償還につい 確保が一番、そして、人口の ては、減価償却費を費用化し、

答)日々、 できる。 師の安定確保ができれば維持 経営努力をし、 医



(答) 校区内居住の意義を理解 用した町内居住を推進する。 してもらい、教職員住宅を活



そこが聞きたい



泉議員 北迫

るよう子牛セリ市名簿と共に (答)町内の温泉旅館を利用す (問) セリ市に参加の購買者

0

'内宿泊費の助成は。

少子化対策&財政改革

(問)「日本で最も美しい

り組む。

R活動など有効な誘致策に取 観光パンフレットを配布しP

連合の取り組みは。

問 定住対策に町有地の処分

(答) 高原町定住対策推進本部 立ち上げて具体的な取り組み 並びにプロジェクトチームを を進める。

(問)院長住宅の処分は。

(答) 地方自治法第238条3 項により譲渡できる状態にな 第1項並びに238条4第1

(問)教職員住宅の活用は。

医療費と健康保険税を共

(問) ジェネリック医薬品の啓

識の一層の浸透を推進する。 答)継続的に啓発を進め、 エネリック医薬品に関する知

(問) 生涯スポーツの振興は。

.答)自分自身の健康増進や人 ると認識している。 果たす役割は大きなものがあ 生の楽しみでスポーツに親し んでおられ、生涯スポーツの

(問) 予防医療の啓蒙は。

組織

国で低い位置である。受診察 20年度2%、21年度19%と全 特定健康診査の受診率は、

機関に要望していく。 関係

る。大型バス等の乗り入れが 降りられない観光客も相当あ 改良や進入道路の整備が必要 出来るよう入口附近の国道の まで匂配が急なため湖畔まで

(問) 御池皇子港 (国道の下)

(答) 基本計画を策定し、 ではないか。

行財政改革について

(問) 本町をどのように導いて (答) これまでの枠組みや前例 る可能性もある。 していくことがあげられ、人 を中心に行政需要が一層増加 平成32年には8、536人とな なければならないが、平成20 自主財源の確保に勤めていか サービスをまかなっていける らの現状をふまえ今後の行政 が確保される財政構造に転換 将来に渡って持続的に健全性 全般について総点検を実施し、 にとらわれることなく、町政 は財政状況をさらに厳しくす っており、社会福祉関連分野 年12月時点での人口推計では、 していくことが必要だ。これ いくのか、本町の行方は? 口減少による納税者数の減少

(答) 町民に身近なことも出来

る限り拾い上げ、

重要課題等

(答)受診者の固定化が顕著に

直しを示されているが。 している。町はこの事業の見 町民の健康保持に大きく寄与

り起こしをしたい。永年受診

なっており、新規受診者の掘

者には、負担を増やしていた

災体制づくりをすすめるため

住民主体の防

成した土石流に対しての避難 された。政府支援チームが作 難所について疑問点などが出

問

簡易人間ドック事業は

ある。

(答) メリット・デメリットを

(問) 御池は霧島連山の火口湖

として、すばらしい景観を有

からこそ必要では。

検証しながら検討する必要が

(問)事業仕分けは小さい町だ

解してほしい。

けをしていると言うことで理 先順位などをふまえて予算付

備計画についてける御池の位置付けと整本町の観光資源の中にお

(問) 町の現状にマッチした予

が現状は、観光バスはノース

トップで通過し、湖畔にある

し交通の便にも恵まれている

算の振り分けを。

ピロリ菌の除菌に補助を

(答) 御池の観光資源を観光客

整備をすべきではないか。

ような観光スポットとしての 光バス等が定期的に立ち寄る

の誘致につなげるため、将来

の御池を見据えたプランを作

に取り組みたい。

に重点的、効率的な予算編成

観光客は年々減少している。

も一部を除き放置されており、 民間の食堂機能を備えた施設

基本計画を早急に策定し、

最近のシミュレーション (答) 国保財政は逼迫しており、 (問)健常者の除菌は保険適用 現在の所対象としていない。 外となっており、自己負担額 せめて半額の補助を。 10、990円と高額である。

成したい。

(問) 消防団員の方々は、それ 等を含めてやっていきたい。 用しながら、地元での講習会

スポーツ施設について

(問) クロスカントリーコース

をつくり、陸上の合宿誘致を

国土交通省等の機関を活

だきたい。

説明すべきでは。

の皆さんに防災対策について 要があると書いている。地区 民との対話を積極的に行う必 に住民説明会等を通じて、住

(答) 昨年10月に第2次高原町 行財政改革推進計画を策定し

効率性、総体性、公開性を評 ず行政改革が必要だ、妥当性、 行財政改革をするにはま

(答) 応急的な処置を含めて早

急な対策をとる。

円に比べ低い。本町でもこの 都城市の4時間以上4、700 等にあたった。本町の警戒出 間で延べ639人が警戒活動 い。新燃岳噴火では延べ39日 活動にあたらなければならな 動となると仕事を休み、消防 活動にあたっている。いざ出 ぞれ仕事を持ちながら消防団

答

今後、積極的に対応した

図ったらどうか。

61

(問) 町民体育館の天井が剥れ

落ちそうになっており、

早急

回2、500円で

な改修を。

前原淳 議員

を進めていくが、財源を生み

緊急性、

効率性、あるいは優

くスクラップも当然出てくる、 出すためにはビルドだけでな

宮司

蘍議員

(答) 皇子原公園付近に設置を (答) 前向きに検討したい。 (問) 宮崎市は、津波から市民 計画している。 されたが、どうなっているか。 行い、早急に検討すると答弁 拡声機の設置を求める質問を 上げている。6月議会で屋外 ーカーを増設する補正予算を を守るために防災無線のスピ

新燃岳防災対策について

町政座談会で祓川区の避

健康づくりについて

を高めるよう、アンケート調

査の準備をしている。

(答) 限られた財源の中で事業 を取り入れる考えは、 価する事務事業評価システム

手当を引き上げるべきではな

問 も必要ではないか。 池遊歩道の整備 (簡易舗装等 の一体的な活用を行うには御 皇子港と町キャンプ村と

答 要望していきたい。

県の管理となっているの 有害鳥獣対策

路の整備について地区における高千穂

問 いる。 前まで水位が上がり、地域住 集中豪雨により当用水路が氾 必要ではないか。 た他河川への分水路の整備が 水路の水量の調整を目的とし ない不安な状況下におかれて 民の方は大雨の度に夜も眠れ が今もなお大雨時には氾濫寸 する被害が広範に及んだ。そ 当地区は昨年7月3日の 床下や庭先に泥水が流出 2戸の床上浸水をはじ 転倒堰等が設置された 行政が主体となって用

> 1 1, 4 4 8 a, 7万2百円。鹿、

被害額3百 猪等 面積 を中心に379ha、被害額

答)鳥類被害面積

飼料作物

被害状況と被害額は。

又_、対

出ているが、高原町の農作物

全国的に農作物の被害が

(答) 自動転倒堰等の対策を行 て承りたい。 いつつあり、一つの対策とし

(問) 鳥獣害対策にナビシステ

ム赤外線センサーで、

動物の

対応、対策を講じて行く。 との連携を強化し、積極的な 設置し捕獲の実施、関連機関

原町有害鳥獣捕獲対策協議会 導入や関連法策の推進と、高 物被害防止策に必要な事業の 万2千円。対応、対策は農作

(問) 氾濫の要因は用水路断面 の不足である。分水先の河川 急ぐべきではないか。 を前提にした抜本的な対策を 量費を計上し、分水路の整備 の状況も含め総体的な調査測

検討しては。

(問) 宮崎県内に地域密着型サ

るところがある、高原町でも

(答) 総体的な対策を講じるた 行い事業の実施に向け取り組 めの調査、改良区との協議を

んでいきたい。



入佐広登議員

第

この協議会に諮って対応した

渇する可能性もある。

素晴ら

水源はひとたまりもない。枯

きめ細やかに規制する必要が しい霧島裂罅水を守るため事 くみ出したら高原町の貴重な ングを行い日何千トンも水を 企業が土地を買収し、

ボー

計画等運営協議会を設置し、 おり、高原町高齢者保健福祉 事業計画の策定年度となって

わな許可資格者数は、

を通じ、

国

県に予算拡充の

要望をしている。

狩猟者の捕獲免許証

(答) わな狩猟免許者2名。 種狩猟免許(空気銃)者数7 銃、散弾銃)者数8名。第2 種銃猟免許登録(ライフル

り組 水資源保護条例制定の取 み

問 必要では。 貴重な財産である。後世の為、 ている、我が高原町は霧島山 なり、地下水をくみ上げて飲 点から水資源保護条例制定が 水資源の保護、環境保全の観 系から湧水や地下水があり、 料水を製造する会社が急増し 近年飲料水の需要が多く

> い水資源保護条例に今後取り に適した将来に禍根を残さな で構成されているか、高原町 緯で制定されどのような内容 源保護条例等がどのような経

(答) 企業にとって水は欠かせ 組みを進めて行きたい。 原町に合った条例制定の取り ない、さまざまな面から検討 した条例が必要で、現状の高

接近を検知して効果が出てい 福祉

(答) 導入に当たっては調査を しながら検討したい。 特定鳥獣鹿捕獲に報償費 宅介護事業所施設が39施設あ ービス系の小規模多機能型居

問

への取り組みは。 が出ているが、他の有害鳥獣 宮崎県町村会等関連機関 (答)平成24年度から26年度の 保健福祉計画第5期介護保険 3年間における高原町高齢者 高原町にも必要では。

> 水資源の保護条例制定に 温谷文雄議員

(答)今後、先進地等の情報収 集や全国の他自治体等の水資

条例制定を望む。

定し早急に水資源を保護する 水に関するあらゆることを想 死語となっているので商業用 ある。想定外という言葉、今

ついて

問 0・76%である。高原町には、 らはかり知れない被害がでる。 無秩序に地下水をくみ出した バルなビジネスが起きている。 で地下水資源をめぐりグロー るのか。今、この日本の各地 くにボーリングしたらどうな 月は2・3月は雨が少なかっ 田に養魚に環境保全に役立っ 質の水がある。飲料水に、水 霧島山系の恩恵で素らしい良 や湖沼の水、 や北極の氷。 水で、淡水のほとんどは南極 ている。若し企業が湧水の近 田水利組合は湧水で成り立っ たため非常に心配した。木場 長を6年しているが今年の5 ている。私は木場田水利組合 地球の水の9・5%は海 地下水のわずか 使えるのは河川



第6回 定例会議議決内容

議案番号	件名	議決結果	①松元茂春	②鹿嶋重明	3温谷文雄	4前原淳一	5宮司 蘍	⑥入佐廣登	⑦北 迫 泉	8 中 村	9清水公雄	⑩森山勇
報 告 第 7 号	平成22年度高原町健全化判断比率及び資金不足 比率について	報告	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
同 第 3 号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同意	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_
同 第 4 号	教育委員会の委員の任命について	同意	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_
議 案 第43号	高原町暴力団排除条例	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_
議 案 第44号	高原町手数料条例の一部を改正する条例	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_
議 第45号	物品購入契約について	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_
議 案 第46号	分担金を徴収すべき事業について	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_
議 案 第47号	高原町過疎地域自立促進計画の変更について	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_
議 案 第48号	平成23年度高原町一般会計補正予算(第5号)	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_
	平成23年度高原町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決			0	0	0	0			0	_
	平成23年度高原町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_
	平成23年度高原町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_
発議第 6 号	高原町議会改革特別委員会設置に関する決議	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_

「○」: 賛成、「●」: 反対、「除」: 除斥、「棄」: 棄権、「欠」: 欠席

第6回 定例会議議決内容

議案番号	件名	議決結果	①松元茂春	②鹿嶋重明	③温谷文雄	4前原淳一	⑤宮 司 蘍	⑥入佐廣登	⑦北 迫 泉	8中村	9清水公雄	⑩森山 勇
認 定第 1 号	平成22年度高原町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	0	0	0	0	0	0	0	•	0	_
認 定第 2 号	平成22年度高原町住宅新築資金等貸付事業特別 会計歳入歳出決算認定について	認定	0	0	0	0	0	0	0	•	0	_
認 定第3号	平成22年度高原町農業集落排水事業特別会計歳 入歳出決算認定について	認定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_
認 定第 4 号	平成22年度高原町老人保健特別会計歳入歳出決 算認定について	認定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_
認 定第 5 号	平成22年度高原町国民健康保険特別会計歳入歳 出決算認定について	認定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_
認 定 第 6 号	平成22年度高原町簡易水道特別会計歳入歳出決 算認定について	認定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_
認 定 第 7 号	平成22年度高原町介護保険事業特別会計歳入歳 出決算認定について	認定	0	0	0	0	0	0	0	•	0	_
認 定第8号	平成22年度高原町公共用地取得事業特別会計歳 入歳出決算認定について	認定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_
認 定第 9 号	平成22年度高原町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	0	0	0	0	0	0	0	•	0	_
認 定 第10号	平成22年度高原町水道事業決算認定について	認定	0	0		0	0	0	0	\circ	0	_
認 定 第11号	平成22年度高原町病院事業決算認定について	認定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_
認 定 第12号	平成22年度高原町工業用水道事業決算認定について	認定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_
請 願 第 2 号	郵政改革法案の早期成立を求める請願書	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_
発 第 7 号	郵政改革法案の早期成立を求める意見書(案)	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_
発議第8号	森林・林業・木材産業施策の積極的な展開を求める意見書(案)	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_

「○」: 賛成、「●」: 反対、「除」: 除斥、「棄」: 棄権、「欠」: 欠席

特別養護老人ホーム

みやま園

園長 竹井 一馬

TEL42-5001

開園から19年目になりました。平成21年度からユニットケアを取り入れ日々ご利用者様の生活支援をスタッフー同頑張っています。 今年は新燃岳の噴火があり、まだまだ心配ですが、これからもご利用者様の生活を一生懸命お世話してまいります。

介護についてお悩みがありましたら、ご相談下さい。















【利用定員数】長期入所…50名 短期入所生活介護(ショートステイ)…10名 計60名

最近、何て呼べば

【入所対象者】長期入所…65歳以上で要介護認定を認定されておられる方。

短期生活介護(ショートステイ)…65歳以上で要支援、要介護の認定を受けている方。

【報謝会理念】福祉を通じて、万物の幸福に、貢献し続ける。

【所 在 地】高原町大字蒲牟田7348-2

次回第38号でお知らせし知っていますか。正解は

黄金色の田んぼが収穫の秋を迎え、みごとに刈り取られました。今年は、台風の襲来もなかったから、豊作ではなかったから、豊作ではなかったでしょうか。 影響はなかったでしょうか。 運動の秋・食欲の秋・ さんはどの秋を満喫し







55